公共事業ニュース

東京支局　TEL.03(5425)2070
多摩支局　TEL.042(527)7291

私たちの〝就職戦線〟⑲

―建設系学生・生徒に就活のホンネを聞く―

墨田工科高校・下

女性の建設業への入職者数が増加している。東京都では「女性活躍モデル工事」を試行し、女性が建設業に進出しやすくするための環境づくりを推進。墨田工科高校建築科では１～３年生で現在10人の女子高校生が建築の基礎を学ぶ。今回は建築科３年生の坂井花さん、影山瑠那さんに就活事情を聞いた。

影山さん「さまざまな挑戦ができる会社に」

坂井さん「人付き合いが苦手なので仕事で克服」

影山瑠那さん（３年生）。休日は部屋の掃除。こまめに掃除するのが好き

坂井花さん（３年生）。趣味は料理で、家族のために自炊を

―建設業に興味を持つきっかけは。

坂井「幼少期から建築物を見るのが好きだった。兄が墨田工科高校卒業後、建設業に勤めていたこともあり建設業に進みたいと考えた。学ぶうちに、一つの建築物に対して多くの人間が関わり、長いスパンで施工に当たることを知り、感銘を受けた。特にキッチンやバスルームなどを整備する技能職に憧れた」

影山「一軒家ができるまでの工程を見て、建設業に興味を持った。当初は大工になりたかったが、体力面で自信がなかったため諦めていた。高校進学時に建築業に携わりたいと思い、墨田工科高校の建築科を選択した。実習で体験したクロスの張り替え作業が、想像以上に面白く、内装業の仕事に就きたいと考えるようになった」

―建設業のイメージについて。

坂井「入学前までは、建設業の業務内容は激務で、パワハラなどがあるブラックな印象だった。企業説明会の中で休みが多く、働きやすい環境だと聞き驚いた。説明会では社員がフレンドリーで雰囲気が良かったため、イメージが変わった」

影山「建設業は世間一般的に３Ｋと言われているが、私は特に悪いイメージはない。親族が建設業で働き、幼少期から建設業の魅力を聞く機会が多かったので、楽しそうだと感じていた。建設業界に入った後も、楽しく働けることを期待している」

―就活で重視したことは。

坂井「建設業は人と関わる仕事が多いため、職場の雰囲気を重視した。私は人付き合いが苦手で仕事を通して克服したかったので、できるだけ多くの人と関われる仕事を希望した。タカラスタンダードを知ることになったのは、工務店で働く叔父の紹介だった。タカラスタンダードでは施工時に、担当の職人が着工から完成まで携わると聞き、好印象だった。若手社員の育成支援が充実しており、休日数は年間１２０日以上、完全週休２日制を採用しているなど、待遇面においても申し分なかった」

影山「自分の好きなことができる会社を重視した。授業で内装工事の楽しさを知ったので、内装業に絞って就活を行った。転勤がなく、福利厚生が整っているかを判断基準にして企業を選択。長谷工ファニシングは内装工事を幅広く行っており、さまざまな挑戦ができると期待している。グループ会社の長谷工コーポレーションと同様の福利厚生で、育児休暇も充実していたので就職先に適していると考えた。入社後は快適な住環境を提供できるよう仕事に従事したい」

（多摩支局＝八坂篤頼）

３施設更新へ構想示す

新清掃施設基本構想案を公表

柳泉園組合

可燃ごみ焼却施設などが入る柳泉園クリーンポート

柳泉園組合は、新清掃施設整備基本構想案をまとめ、「柳泉園クリーンポート（可燃ごみ処理施設）」「不燃・粗大ごみ処理施設」「リサイクルセンター」の３施設を対象とした今後の施設更新への構想を示した。

整備手法は、「可燃ごみ処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設、リサイクルセンターを一体化して整備する案（合棟案）」と「可燃ごみ焼却施設と不燃・粗大ごみ処理施設を一体化し、リサイクルセンターのみ別途更新する案（別棟案）」の２パターンを検討していく。

更新施設の想定建築面積は合棟案が７２００平方㍍、別棟案が８１００平方㍍。新施設建設工事費は合棟案が５９０億円、別棟案が６００億円となる。また、更新対象となる既存３施設の解体費用は、約60億円が見込まれる。更新予定地は同組合敷地内。

想定事業スケジュールは、施設整備基本計画を２０２７、28年度に策定し、事業者を30、31年度に選定。設計・施工は32～36年度を見込んでいる。

既存施設の規模は柳泉園クリーンポートの工場棟が鉄筋コンクリート造地下１階地上６階建て延べ約２万０６６８平方㍍。管理棟が鉄筋コンクリート造３階建て延べ２９３９平方㍍。処理能力は日量３１５㌧（１０５㌧×３炉）、焼却炉形式は全連続燃焼式火格子焼却炉を採用している。付帯棟４棟（検量棟・特高受変電棟・洗車棟・待機所）はいずれも鉄筋コンクリート造で総延べ床面積は約２９０平方㍍。

不燃・粗大ごみ処理施設は鉄骨一部鉄筋コンクリート造平屋約５８６平方㍍。リサイクルセンターは鉄骨造２階建て延べ約２６９０平方㍍。

施設整備に当たっての基本方針は、循環型社会形成に寄与する施設や、地球温暖化抑制とエネルギー問題に貢献する施設、環境学習機能を有する施設など。

建設地は東久留米市下里４ノ３ノ10。

多摩市／本庁舎建て替え

当初に設計費計上せず

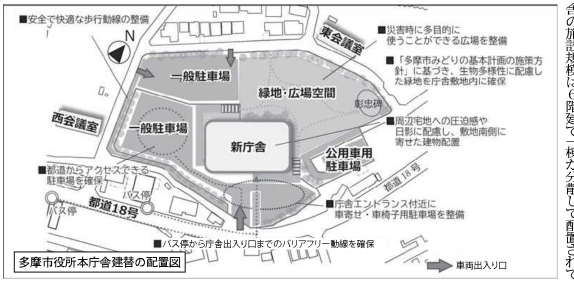
多摩市は、２０２５年度当初予算案に本庁舎建て替え基本設計費を計上する予定だったが、財政状況が厳しいため計上を見送った。これを受けて、25年度上半期に公募型プロポーザル方式で委託先を選定する計画だったスケジュールを延期する。委託時期は未定で、状況が変われば補正予算などで委託料を計上したい考え。

25年度は、新庁舎周辺道路の整備手法を具体的に検討するための面的整備調査業務を実施する。調査業務を東京都都市づくり公社に委託し、庁舎周辺道路の無電柱化や道路拡幅などに向けた整備方法を決める。

本庁舎建て替えは、基本設計先行型ＤＢ方式を採用し、基本設計を個別に委託した後、実施設計・施工を一括して発注する。市は基本計画で、概算事業費を約１７４億円と試算。仮設庁舎は設けず現庁舎を使用しながら新施設を建設する。新庁舎の施設規模は６階建て延べ約１万８３００平方㍍と想定。市役所の敷地面積は１万９８８３平方㍍。所在地は関戸６ノ12。

既存庁舎は敷地内に数棟が分散して配置されている。メインとなる本庁舎Ａ・Ｂ棟の規模は鉄骨鉄筋コンクリート造地下１階地上４階建て延べ８８７６平方㍍、建設年は１９６８～84年。総延べ床面積は１万３１５６平方㍍。

基本構想、基本計画策定支援業務はパシフィックコンサルタンツ（千代田区）が担当している。


■安全で快適な歩行動線の整備
N
東会議室
■災害時に多目的に使うことができる広場を整備
■「多摩市みどりの基本計画の施策方針」に基づき、生物多様性に配慮した緑地を庁舎敷地内に確保
一般駐車場
緑地・広場空間
彰忠碑
西会議室
一般駐車場
新庁舎
■周辺宅地への圧迫感や日影に配慮し、敷地南側に寄せた建物配置
公用車用駐車場
■都道からアクセスできる駐車場を確保
バス停
バス停
都道18号
都道18号
■庁舎エントランス付近に車寄せ・車椅子用駐車場を整備
■バス停から庁舎出入り口までのバリアフリー動線を確保
車両出入り口
多摩市役所本庁舎建替の配置図

町田市

子ども複合施設など

投資的経費に191億円

25年度予算フラッシュ

子ども・子育て複合施設建設地の現況

町田市は、２０２５年度当初予算案を公表した。市民センターや集会施設の改修工事費、芹が谷公園エレベーター設置工事費などの計上により投資的経費は前年度比９・９％増の１９１億７０９３万円となった。

主な事業では、（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設整備事業に３億４１７８万円、新たな学校づくり推進事業に12億７７９５万円、公共施設等維持保全事業に48億５２７６万円を充てた。

子ども・子育てサポート等複合施設は、24年度にＰＦＩ手法のＢＴＯ方式で整備事業者を公募したが、優先交渉権者の選定に至らなかった。ＰＦＩから従来方式に事業手法を変更し、25年度は基本設計者を委託する。新たな学校づくり推進では、南第一小建て替えに伴う基本・実施設計委託や、鶴川第三小と鶴川第四小の統合校舎整備に伴う鶴川第四小既存施設解体などを実施する。公共施設等維持保全では総合体育館大規模改修に向けた基本・実施設計、小山市民センター改修工事、真光寺市営住宅の改修工事などを行う。

土木では、相原駅周辺街づくり事業に７億０９１９万円、鶴川駅周辺街づくり事業に22億４６８９万円、芹ケ谷公園〝芸術の杜〟推進事業に13億５３８７万円、都市計画道路等築造事業に20億４４８４万円を盛り込んだ。

相原駅周辺街づくりでは、電線共同溝や道路改良工事、東口駅前広場詳細設計などを行う。鶴川駅周辺街づくりでは、北口交通広場整備や南口アクセス道路整備などを計画している。都市計画道路等築造では、原町田大通りや大蔵小野路町、本町田金森線などの道路を整備する。

府中市

分倍河原駅周辺整備へ

債務負担に8.6億円

府中市は、投資的経費が99億８５４９万円となる当初予算案を発表した。府中の森芸術劇場改修工事などの完了により前年度比53・７％の減少となった。一般会計の総額は１２１９億１０００万円（同４・６％減）。

建設関連の主な事業を見ると、介護予防推進センター整備事業に１億６６００万円を盛り込み、経年劣化によりひび割れなどが発生している外壁部の改修や、バルコニーなどの床面改修、ＬＥＤ化を実施する。

分倍河原駅周辺整備事業には、２０２５～27年度債務負担行為として８億６２６５万円を設定した。同駅のたまり空間や自由通路の実施設計、用地取得に伴う測量業務などを行う。

公園緑地等整備事業には１億４３９０万円を充当し、武蔵台公園、桶久保公園、紅葉丘中央公園のトイレ改築などを実施する。

教育関連施設では、府中第三小学校校舎等改築事業の25～28年度債務負担行為として９億３１４３万円、府中第六小校舎等改築事業の25、26年度債務負担行為として３億３９８７万円を設定した。また、体育施設整備事業には10億１６３９万円を計上し、市民球場トイレの改修や人工芝化などを行う。

板橋区

栄町集会所の整備賃貸借業者

内藤ハウスに決定

板橋区は、（仮称）栄町集会所を設計・整備し、区へ賃貸借する業者をプロポーザル方式で公募した結果、内藤ハウス東京支店（千代田区）を提案採用者に決定した。提案金額は２億３７３８万円（税込み）。

建物の設計・整備期間は２０２６年２月28日まで。賃貸借期間は26年３月１日から31年２月28日までの５年間。建物は期間終了後に区へ無償譲渡する。

集会所の規模は木造または鉄骨造の平屋、面積は１５０～２００平方㍍程度。建設地は栄町19。

上期に解体工事

豊島区／区民ひろば池袋本町

豊島区は、区民ひろば池袋本町の解体設計をジャパンアセスメントオフィス（豊島区）に委託した。７月末までの履行期間で成果をまとめ、２０２５年の上半期に解体工事に入る。解体後は機能を旧文成小学校に仮移転し、土地は東京都に返還する。

都市計画道路補助82号線の整備に伴い、都有地にある区民ひろば池袋本町と池袋本町三丁目チビッ子児童遊園の一部敷地を26年９月末までに返還するよう東京都から要請を受けていることから、現在の施設から北東に位置する旧文成小学校（池袋本町４ノ36ノ１）に機能を移す。これに伴い、旧文成小学校を仮施設として使用するための改修工事を４～10月の工期で実施する。

占有するのは３階建て校舎のうち１～２階の一部フロア（約１２００平方㍍）。主に内装工事を行う計画。

区民ひろば池袋本町の規模は鉄筋コンクリート造３階建て延べ１１１６平方㍍。１９７８年に完成した。

所在地は池袋本町３ノ９ノ４。

足立区

千住庁舎大規模改修

26年4月にも分離発注

大規模改修する千住庁舎の現況

足立区は、施設の長寿命化に向けて千住庁舎大規模改修設計を慎設計事務所（墨田区）に委託した。履行期間は２０２６年１月30日まで。工事は26年度の４月に建築、電気、機械の３工種に分けて一般競争入札を行い、６月議会の承認を予定している。工期は１年半～２年を見込んでいる。概算工事費は20億円。

同施設には、千住保健センターや千住福祉課、子育てサロンが入居しており、１９９９年に建設された。千住庁舎の規模は鉄筋コンクリート造４階建て延べ３２６２平方㍍。所在地は足立区千住仲町19ノ３。

工事では、外壁・内装、エレベーター、給排水衛生設備、屋上防水改修などを行う。設計を進める中でバリアフリー化を検討する。今後、区施設をＺＥＢ化する際の参考にする。

東京都成績評定

工事・設計等委託（総評定点60点以上）

発注者名	受注者名	総評定点	件名	工期	業種名	通知日
第五建設事務所	ランテック	70点	交差点改良工事及び歩道橋撤去工事（吾妻橋一丁目交差点）	2023年３月３日～24年６月11日	道路舗装	2024年7月18日
	日本道路	76点	路面補修工事（５五の６・二層式低騒音舗装）	2024年１月19日～24年７月18日	道路舗装	2024年8月30日
	磐城電機	73点	街灯維持工事（江東工区西部）単価契約	2024年４月１日～24年８月８日	電気	2024年9月10日
	小針土木	72点	路面補修工事（５五の９）	2024年３月11日～24年８月27日	道路舗装	2024年9月19日
	黒部工業	73点	有明北橋外１橋維持工事（緊急施工）	2024年８月30日～24年９月６日	一般土木	2024年9月27日
東部住宅建設事務所	松原工業	71点	都営住宅３Ｈ－１２８東（足立区鹿浜五丁目）給水衛生設備工事その２	2022年10月25日～24年７月31日	給排水衛生	2024年8月15日
	風越建設	65点	都営住宅３Ｈ－１２５東（江東区亀戸七丁目）工事その２	2022年７月15日～24年５月31日	建築	2024年8月19日
	大谷建興	70点	都営住宅３Ｍ－１１１東（板橋区前野町六丁目）工事	2022年２月14日～24年７月16日	建築	2024年8月23日
	コバ建設	62点	都営住宅３Ｈ－１１９東（江戸川区西瑞江四丁目第４）工事	2021年10月19日～24年５月17日	建築	2024年8月29日
	エーシーエ設計	75点	都営辰沼一丁目団地修正基本設計	2023年11月２日～24年６月18日	建築設計	2024年8月30日
第四建設事務所	マルト建設	71点	電線共同溝設置工事及び排水管設置工事（５四－主８高野台）	2023年７月７日～24年７月17日	一般土木	2024年8月30日
	昭和工業	70点	防護柵設置工事（５四－３）	2023年12月22日～24年７月16日	ガードレール	2024年8月30日

発注者名・件名は略している場合があります。（建通新聞社調べ）
※建通新聞電子版もご参照ください